平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 昭和産業株式会社　　上場取引所　東
コード番号 2004　URL http://www.showa-sangyo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岡田 茂
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員総務部長　(氏名) 大柳 奨　TEL 03-3257-2182

四半期報告書提出予定日　平成26年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	186,104	8.1	7,301	11.5	8,083	13.7	5,542	17.7
25年3月期第3四半期	172,158	0.0	6,547	10.9	7,110	7.6	4,707	19.6

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　6,726百万円　(32.2%)　25年3月期第3四半期　5,087百万円　(24.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	33.99	―
25年3月期第3四半期	28.58	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	161,051	62,610	37.3
25年3月期	152,926	58,620	36.5

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　60,016百万円　25年3月期　55,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	8.00	8.00
26年3月期	―	0.00	―		
26年3月期(予想)				7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成25年3月期期末配当金の内訳　普通配当 7円00銭　特別配当 1円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	5.2	8,500	6.0	8,800	1.1	5,000	6.8	30.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	164,849,898 株	25年3月期	164,849,898 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	5,012,146 株	25年3月期	1,683,731 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	163,057,946 株	25年3月期3Q	164,726,774 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
なお、業績予想に関する事項は添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間の我が国経済は、政府のデフレ脱却に向けた財政・金融政策への期待感から景況感に改善の兆しは見られたものの、本年４月からの消費税増税への懸念や海外景気の下振れリスクなど、景気は先行き不透明な厳しい状況が続きました。

食品業界におきましても、原料穀物相場はやや落ち着きを見せましたが、急速な円安の影響もあり製造コストは依然として高く、さらに消費者の節約志向や低価格志向が継続するという厳しい環境にありました。

このような状況の中、当社グループは、2012年（平成24年）よりスタートした「中期経営計画12－16」の６つの基本戦略「①基盤事業の持続的成長」「②新たな分野への挑戦」「③海外事業の強化」「④効率化の推進」「⑤グループ連携の強化」「⑥ＣＳＲ経営の推進」の下、具体的な施策の推進に努めてまいりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は186,104百万円と前年同期に比べ13,946百万円（8.1%）の増収となりました。営業利益は7,301百万円と前年同期に比べ753百万円（11.5%）の増益、経常利益は8,083百万円と前年同期に比べ972百万円（13.7%）の増益、四半期純利益は5,542百万円と前年同期に比べ834百万円（17.7%）の増益となりました。

セグメント別の概況

①製粉事業

業務用小麦粉の販売数量につきましては、新製品の投入や提案型の営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、輸入小麦の政府売渡価格が平成25年４月に平均9.7%、同年10月に平均4.1%引き上げられたことを受け、小麦粉製品の価格改定を実施しました。

これらの結果、製粉事業の売上高は44,771百万円と前年同期に比べ803百万円（1.8%）の増収、営業利益は2,419百万円と前年同期に比べ576百万円（31.3%）の増益となりました。

②油脂事業

業務用食用油の販売数量につきましては、新製品の投入や顧客ニーズを捉えた営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。業務用食材の販売数量につきましては、中食市場や外食市場などへの営業活動を強化したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、原料穀物価格の影響により、前年同期を上回りました。

これらの結果、油脂事業の売上高は46,168百万円と前年同期に比べ5,771百万円（14.3%）の増収、営業利益は2,178百万円と前年同期に比べ277百万円（14.6%）の増益となりました。

③ぶどう糖事業

糖化製品の販売数量につきましては、加工食品メーカー向けの販売数量が好調に推移したことなどにより、前年同期を上回りました。コーンスターチの販売数量につきましては、積極的な営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、原料穀物価格の影響により、前年同期を上回りました。

これらの結果、ぶどう糖事業の売上高は28,488百万円と前年同期に比べ2,429百万円（9.3%）の増収、営業利益は2,094百万円と前年同期に比べ69百万円（3.4%）の増益となりました。

④家庭用食品事業

家庭用食用油の販売数量につきましては、消費低迷の影響などにより、前年同期を下回りました。家庭用プレミックスの販売数量につきましては、新製品の投入や積極的な販促活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、消費者の低価格志向の影響などにより、一部の製品では価格改定が進みませんでした。

これらの結果、家庭用食品事業の売上高は17,061百万円と前年同期に比べ1,027百万円（5.7%）の減収、営業利益は27百万円と前年同期に比べ256百万円（90.4%）の減益となりました。

⑤飼料事業

配合飼料の販売数量につきましては、養鶏用飼料の販売数量が増加したことにより、前年同期を上回りました。鶏卵の販売数量につきましては、積極的な営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。配合飼料の販売価格につきましては、原料穀物価格の影響により、前年同期を上回りました。鶏卵の販売価格につきましても、鶏卵相場の上昇により、前年同期を上回りました。

これらの結果、飼料事業の売上高は45,745百万円と前年同期に比べ5,688百万円（14.2%）の増収、営業利益は172百万円と前年同期に比べ32百万円（23.3%）の増益となりました。

⑥倉庫事業

倉庫事業につきましては、貨物獲得競争が激化する中、商社や主要顧客との取り組みを強化し、荷役量の増加に努めましたが、売上高は前年同期並みとなりました。

これらの結果、倉庫事業の売上高は2,171百万円と前年同期に比べ１百万円（0.1%）の減収、営業利益は519百万円と前年同期に比べ67百万円（14.9%）の増益となりました。

⑦不動産事業

不動産事業につきましては、オフィス用賃貸ビルの賃料収入は一部テナントが退去したことにより、前年同期をやや下回りました。商業施設用ビルの賃料収入は平成25年４月からショーサン上尾ビル（埼玉県上尾市）の賃貸を開始したことにより、前年同期を上回りました。

これらの結果、不動産事業の売上高は1,504百万円と前年同期に比べ291百万円（24.0%）の増収、営業利益は824百万円と前年同期に比べ102百万円（14.2%）の増益となりました。

⑧その他事業

保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等をあわせたその他事業の売上高は194百万円と前年同期に比べ９百万円（4.4%）の減収、営業利益は34百万円と前年同期に比べ14百万円（29.6%）の減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

総資産は、161,051百万円と前連結会計年度末と比較して8,125百万円増加しております。主な増加要因は、売上債権が2,704百万円増加したこと、たな卸資産が在庫数量の増加などにより2,667百万円増加したこと、投資有価証券が期末時価評価などにより1,524百万円増加したことであります。

負債は、98,441百万円と前連結会計年度末と比較して4,136百万円増加しております。主な増加要因は、有利子負債が7,903百万円増加したことであります。一方、主な減少要因は、設備関係債務が2,007百万円減少したこと、未払法人税等が924百万円減少したことであります。

純資産は、62,610百万円と前連結会計年度末と比較して3,989百万円増加しております。主な要因は、四半期純利益5,542百万円の計上による増加、期末配当金の支払による1,305百万円の減少であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第４四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、平成25年５月14日に公表した平成26年３月期（平成25年４月１日～平成26年３月31日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,474	2,985
受取手形及び売掛金	39,136	41,840
商品及び製品	7,923	8,640
仕掛品	1,162	1,192
原材料及び貯蔵品	16,983	18,904
その他	2,644	2,916
貸倒引当金	△320	△308
流動資産合計	70,004	76,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,037	28,581
機械装置及び運搬具（純額）	15,364	15,564
土地	17,880	18,878
その他（純額）	3,044	1,553
有形固定資産合計	64,326	64,578
無形固定資産		
のれん	76	45
その他	1,521	1,488
無形固定資産合計	1,597	1,534
投資その他の資産		
投資有価証券	14,759	16,283
その他	2,336	2,719
貸倒引当金	△97	△234
投資その他の資産合計	16,997	18,768
固定資産合計	82,922	84,881
資産合計	152,926	161,051
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,675	23,168
短期借入金	22,456	23,557
コマーシャル・ペーパー	7,500	14,000
1年内償還予定の社債	30	－
未払法人税等	1,841	916
賞与引当金	1,127	519
課徴金引当金	718	－
資産除去債務	－	1
その他	14,210	12,840
流動負債合計	71,559	75,004

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
長期借入金	9,165	9,498
退職給付引当金	6,503	6,612
役員退職慰労引当金	236	186
資産除去債務	259	244
負ののれん	6	2
その他	6,574	6,893
固定負債合計	22,745	23,437
負債合計	94,305	98,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,778	12,778
資本剰余金	4,710	4,710
利益剰余金	35,541	39,777
自己株式	△481	△1,510
株主資本合計	52,547	55,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,116	3,945
繰延ヘッジ損益	102	315
その他の包括利益累計額合計	3,218	4,260
少数株主持分	2,854	2,593
純資産合計	58,620	62,610
負債純資産合計	152,926	161,051

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)
売上高	172,158	186,104
売上原価	141,574	154,461
売上総利益	30,584	31,643
販売費及び一般管理費	24,037	24,341
営業利益	6,547	7,301
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	201	215
為替差益	－	45
負ののれん償却額	5	4
持分法による投資利益	404	451
その他	379	380
営業外収益合計	997	1,104
営業外費用		
支払利息	312	271
コマーシャル・ペーパー利息	8	6
その他	113	45
営業外費用合計	434	323
経常利益	7,110	8,083
特別利益		
固定資産売却益	11	13
投資有価証券売却益	6	20
負ののれん発生益	0	159
受取保険金	444	－
退職給付制度改定益	－	395
災害損失引当金戻入額	127	－
特別利益合計	590	589
特別損失		
固定資産廃棄損	168	405
固定資産売却損	3	1
減損損失	57	30
課徴金	－	33
関係会社出資金評価損	－	69
投資有価証券評価損	12	1
その他	10	10
特別損失合計	253	551
税金等調整前四半期純利益	7,447	8,121
法人税、住民税及び事業税	2,505	2,268
法人税等調整額	156	192
法人税等合計	2,662	2,461
少数株主損益調整前四半期純利益	4,785	5,660
少数株主利益	77	118
四半期純利益	4,707	5,542

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	4,785	5,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155	783
繰延ヘッジ損益	123	213
持分法適用会社に対する持分相当額	23	68
その他の包括利益合計	302	1,065
四半期包括利益	5,087	6,726
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,007	6,584
少数株主に係る四半期包括利益	80	142

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年12月20日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、普通株式3,300,000株を1,019百万円で取得しております。この結果、自己株式は単元未満株式の買取による増加も含め、当第３四半期連結累計期間においては、1,028百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において1,510百万円となっております。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							
	製粉事業	油脂事業	ぶどう糖事業	家庭用食品事業	飼料事業	倉庫事業	不動産事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	43,967	40,397	26,059	18,089	40,056	2,173	1,212	171,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	241	1,390	1,454	813	5	995	69	4,969
計	44,208	41,787	27,513	18,902	40,062	3,168	1,282	176,925
セグメント利益	1,842	1,901	2,025	283	139	451	721	7,366

(単位：百万円)

	その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
売上高				
外部顧客への売上高	203	172,158	―	172,158
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,129	6,099	△6,099	―
計	1,332	178,257	△6,099	172,158
セグメント利益	49	7,415	△867	6,547

(注) １　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△867百万円には、セグメント間取引消去△５百万円、全社費用△862百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							
	製粉事業	油脂事業	ぶどう糖事業	家庭用食品事業	飼料事業	倉庫事業	不動産事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	44,771	46,168	28,488	17,061	45,745	2,171	1,504	185,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	247	1,790	1,647	696	3	965	171	5,522
計	45,018	47,958	30,135	17,758	45,749	3,137	1,675	191,433
セグメント利益	2,419	2,178	2,094	27	172	519	824	8,235

(単位：百万円)

	その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
売上高				
外部顧客への売上高	194	186,104	―	186,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,074	6,597	△6,597	―
計	1,268	192,702	△6,597	186,104
セグメント利益	34	8,270	△968	7,301

(注) １　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△968百万円には、セグメント間取引消去△９百万円、全社費用△959百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

子会社株式の追加取得により、負ののれん発生益159百万円を計上しておりますが、各報告セグメントには配分しておりません。